

神鉄粟生線を楽しもう

ジャズ電車 秋を駆ける

日本のジャズ発祥の地
・神戸からの魅力発信
で、粟生線の利用促進
を―と神戸県民局が企
画。神鉄が車両を提供
した。

約150人が乗り込ん
だ4両編成の電車は、午
後4時半に新開地駅を発
車。志染駅(三木市)ま
でをノンストップで往
復した。車内はジャズに
合わせ、照明を紫にし、
演奏は、8月に同県民局
が催した「おやしジャズ
バンドコンテスト」で
入賞した2団体が披露し
た。

ジャズの名曲が流れる

乗客減少で存廃が議論される神戸電鉄粟生線(鈴蘭台
―粟生)を、ジャズで盛り上げようと、電車内で生演奏
を楽しむ「おやしジャストレイン」が3日夕、特別運
行された。
(斉藤絵美)

と、電車で揺られながら
つり革につかまってリス
ムを刻む立ち見客の姿
も。午後5時すぎには、
車窓から夕日が沈む景色
も楽しめた。

演奏した「Kobe
Swing Vets
(コウベ・スイング・ベ
ツ)」のリーダー沢嶋



乗客150人「風景にぴったり」

効さん(54)「神戸市須磨
区戸政町3」は「めった
にない機会。移ろう風景
を眺めながらの演奏は最
高」。電車好きという同
市北区北五葉2の会社
員夢野知子さん(25)も
「普段利用するが、雰囲
気が全く違う。のんびり
した風景と音楽がぴっ
たりできすぎ」と話して
いた。

ジャズの生演奏が楽し
めた「おやしジャスト
レイン」。乗客たちは
盛り上がった